



甲斐市議会だより
2026.7.25 No.88

がいぎかい

令和8年7月25日発行★議会活動をわかりやすくお伝えします

今月の見どころ

【特集】輝く仲間たち	2 ページ
令和8年 第2回定例会	4 ページ
甲斐市のこんなことが決まりました	5 ページ
ここが聞きたい 一般質問	8 ページ
委員会構成・一部事務組合議会議員決定	12 ページ
議長交際費・政務活動費	15 ページ

表紙写真：棚田保存会による田植え



緑と活力あふれる生活快適都市

特集 輝く仲間たち (第26回)

毎回、市内で頑張る方々に登場していただきます。
今回は、NPO法人敷島棚田等農耕文化保存協会です。

あした 「笑顔できらめく、棚田の未来」

表紙を飾った、笑顔がはじけるお田植の風景。
これは、敷島地区にある江戸時代からの貴重な遺産「御領棚田」です。

江戸時代初期、徳川幕府の直轄地として開田された歴史を持ち、山の斜面の高低差に合わせるように約800枚もの美しい田んぼが重なる、甲斐市が誇る宝物です。しかし一時は、高齢化などにより荒廃の危機に瀕していました。

そんな中、今から27年前、山梨県や旧敷島町(現・甲斐市)の職員が中心となって保存協会を立ち上げ、情熱的な再生活動が始まりました。今では市民ボランティアの協力と、甲斐市からの温かい支援によって見事に復活を遂げ、美しい景観が今に引き継がれています。

伝統を支える3つの絆

輝く2,000本の光

6月に開催された点灯式では、夜の棚田に約2,000本のLEDライトが幻想的な光のラインを描きました。澄んだ初夏の夜空に鮮やかに打ちあがった花火が水面に美しく反射し、訪れた人々を魅了しました。



笑顔あふれるお田植え

初夏の太陽のもとで行われた伝統のお田植えには、市内外から大勢のボランティアや若い学生たちが参加。泥まみれになりながらも笑顔で手を取り合い、甲斐市の大切な農業の営みを未来へと繋いでいます。

次世代へつなぐコミュニティ

現在の御領棚田は、ただお米を育てる場所にとどまりません。地元の農家と都市部から訪れる人々、そして次世代を担う子どもたちが温かく響き合い、新たな絆と笑顔を育む地域交流の大きな舞台となっています。



「棚田を支える人々」

自然を求め、家族と移住。
棚田が繋ぐ、かけがえのない絆

神奈川県の民間企業に20年勤めていた吉田健二さん(43)は、転勤をきっかけに、8年前に家族4人で山梨県へ移住して県庁に就職しました。ここで同じ棚田オーナーの兒玉さん一家と知り合い、交流はもう6年になります。「夏の草取りは大変」と苦笑いしつつも、子どもたちはおたまじゃくし捕りに夢中。大自然の中で育まれる温かい関係は、家族と地域の絆を今も優しく紡いでいます。



東海大学付属甲府高等学校
自然科学部(高橋秀幸先生)

水辺のビオトープ作りなど環境保全に励む中、探究コンペをきっかけに棚田保存会との縁が生まれ、念願の活動参加が実現しました。先日の田植は、自然の豊かさと農業の大切さを肌で学ぶ最高の機会に。「泥での作業は大変でしたが、地域の美しい景観と生態系をこれからは私たちが責任を持って守り、次世代へ繋いでいきたい」と、地域の未来を担う高校生たちは頼もしい決意を生き生きと語ってくれました。

「小田切一正会長の思い」

地元にとって棚田は手入れが難しく、日々の農作業も本当に大変なものです。それでも、この活動を通して一人でも多くの方に棚田の魅力を知ってほしいと願っています。

いつも支えてくれる会員の皆さんに感謝するとともに、一生懸命に環境保全に励む高校生にとっても、ここで経験が活動をさらに深める機会になれば嬉しいです。イベントを契機に、地元の方々が地域の価値を再認識し、誇りを持って地域が盛り上がっていったらと思っています。おかげさまでこれまでの活動が実を結び、周囲の管理をしてくれる方が増え、県道からの景観も見違えるほど良くなりました。



【お問い合わせ・活動への参加】

■ 棚田の保存・イベントについて

NPO 法人 敷島棚田等農耕文化保存協会

TEL: 090-4715-1409 (または 055-277-6138)

甲斐市議会は今後も「輝く仲間たち」の
活動を全力で応援して参ります。

令和8年 第2回定例会

定例会の あらまし

第2回定例会は、6月24日から7月2日の9日間の会期で開かれ、市長から補正予算および条例の制定など40議案が提出されました。

今定例会の一般会計の補正予算額は9億884万7千円で、主な内容は、釜無川レクリエーションセンター解体工事費や双葉地区工業団地造成工事・水路整備工事費、しのはら公園整備工事費などで、すべて原案のとおり可決されました。

表彰の伝達

定例会初日(6月24日)に議員表彰の伝達式を行いました。

全国市議会議長会(令和8年5月27日)

- 市議会議員在職15年表彰
赤澤 厚 議員

山梨県市議会議長会(令和8年4月22日)

- 市議会議長の職を務めたことによる表彰
赤澤 厚 議員



新たな農業委員の任命が同意されました(任期 令和8年9月1日～令和11年8月31日) (※敬称略)

氏名	担当地区
内藤 雅英	竜王地区
西山 豊	敷島地区
井上 正義	敷島地区
猪股 俊公	双葉地区
平馬 吉宗	敷島地区
小田切一正	敷島地区
花形 保彦	竜王地区
上野 博志	双葉地区
西山 博和	竜王地区
有泉 善人	双葉地区

氏名	担当地区
小林 泉	双葉地区
大木 弘一	双葉地区
長久保 学	双葉地区
平賀 哲夫	双葉地区
内藤 忠夫	竜王地区
長坂 昌司	双葉地区
小林 英輝	双葉地区
市川 将來	敷島地区
中村 敬一	双葉地区

甲斐市議会だより(かいギカイ)では、第1回臨時会及び第2回定例会の主な内容をピックアップして、掲載しています。

また、議会ホームページで録画映像を配信していますので、こちらもぜひご視聴ください。



令和8年 第1回臨時会

臨時会の あらまし

第1回臨時会は、議員選挙後の初議会で、5月18日の1日間の会期で開かれ、議長、副議長、各委員会委員、一部事務組合議会議員などの選任を行いました。
また、市長から専決議案および監査員の選任についての2議案が提出され、全て原案のとおり承認および同意されました。

監査委員の選任

前任者の退任(令和8年4月30日)に伴い、次の方の選任に同意しました。(※敬称略)

- 秋山照雄(新任)

第2回定例会において

甲斐市のこんなことが決まりました

主な内容をピックアップしてお知らせします

しのはら公園の開園に向けて

議案第50号 令和8年度甲斐市一般会計補正予算(第2号)

議案第51号 篠原地区公園整備工事(3工区)(明許)請負契約締結の件

今回の整備工事(3工区)の契約を締結することにより、駐車場・園路の舗装や屋外遊具設置などの工事が始まります。
また、ハンドホール、散水栓制御操作盤等の設置や、公園内の高木・中低木の植栽、張芝工などに関する予算が補正されました。



イメージパース

赤坂台総合公園等周辺エリアの 活性化基本計画を策定します

議案第41号 令和8年度甲斐市一般会計補正予算(第1号)

山梨いちごの王さまミュージアムの開業を契機としてミュージアムと周辺の既存資産の連携により、市内の活性化や関係人口の創出・拡大を図るための、赤坂台総合公園等周辺エリア活性化基本計画策定に取り掛かります。



赤坂台総合公園



赤坂ソフトパーク周辺



竜王駅北口周辺

今後の予定

令和8年8月下旬

計画策定委託業者の選定・契約

令和9年1月・2月

パブリックコメント実施予定

令和9年3月

基本計画策定予定

釜無川レクリエーションセンターの廃止・解体

議案第41号 令和8年度甲斐市一般会計補正予算(第1号)

これまで、甲斐市公共施設等総合管理計画による、施設の存廃の検討や甲斐市温泉施設事業運営検討委員会の答申を踏まえた、民間活力の導入調査など、多角的に調査、検討を重ねてきました。

そうした中で、老朽化に伴う設備の故障等により休館となり、同時期に改修を検討していた玉幡公園総合屋内プールとの複合化についての検討の末、温浴機能を集約・複合化する方針としたため、施設の廃止を決定しました。

施設の解体工事については、令和9年3月末までの完了を予定しています。

施設概要

- ・昭和63年度建築(平成17年度増築) 築38年
- ・鉄筋コンクリート造 2階建
- ・建築面積 731.69㎡(延べ床面積 1279.10㎡)



災害対策用備品を購入します

議案第46号 災害対策用備品(移動式冷房機器)購入売買契約締結の件

災害時における指定避難所22か所で活用する、移動式冷房機器77セットを購入します。

水の気化熱を利用して、周囲の温度より5度低い、涼しい風をスポット的に送る、移動式の冷風機です。

災害時には、各避難所の非常用発電機を使い稼働させるほか、平時においても、学校行事や部活動での使用も考えています。

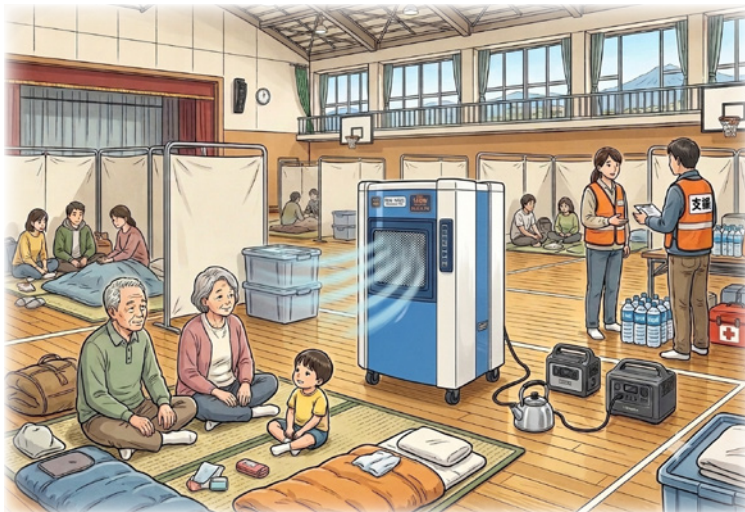
件名	災害対策用備品(移動式冷房機器)購入
契約先	テルウェル東日本株式会社 山梨支店
契約金額	1,110万5,864円

購入内容

移動式冷房機器 77セット

※次の1から3までを1セットとする

- 1 気化式冷風機 1台
- 2 ボールガード 1個
- 3 収納カバー 1個



避難所での使用イメージ

議案第41号 令和8年度甲斐市一般会計補正予算(第1号)について討論がありました

賛成討論

依田 那津希 議員

本補正予算案は、既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ、7億4,291万2千円を追加するものであります。

主な、内容としましては、甲斐市の魅力を広く発信し、関係人口の創出や市内の活性化を図るための「赤坂台総合公園等周辺エリア活性化基本計画策定業務」などに係る「地方創生事業」や、脱炭素社会の実現に向けた「脱炭素社会推進事業」、さらには、企業誘致に向けた環境整備に関連する事業など、「第3次甲斐市総合計画」や「甲斐市デジタル田園都市構想総合戦略」の取り組みを推進する事業が盛り込まれており、適切な内容であると評価いたします。

さて、釜無川レクリエーションセンターの解体工事についてです。本施設は、建設から30年以上が経過し、老朽化が進んでいることから、これまで議論を重ね、昨年度、施設廃止に向けた「甲斐市民温泉条例」の一部改正、及び、解体工事に向けた実施設計業務を行い、今回、解体工事に係る経費として、約1億5,000万円を計上するものであります。

また、この事業については、「甲斐市公共施設等総合管理計画」の基本方針の一つである「施設総量の削減と配置の適正化」に向けた考え方に合致しており、将来のまちづくりを見据えた取り組みであると考えられます。

以上、本補正予算案は、変化する社会環境や多様化する市民ニーズを捉え、甲斐市の健全な発展と財政運営に資するものであります。

今後も、市民の期待に応え、より一層、効率的・効果的な行財政運営に努めることを期待し、賛成討論といたします。

反対討論

谷口 和男 議員

同補正予算には、「かまなしの湯」解体工事費が1億4,971万円含まれる。市民温泉の存続を求める人達は、解体に強く反対している。

かまなしの湯の廃止方針が示されて以降反対署名を集め、令和6年3月には市長も「ダムシダマシ営業を継続する」と存続と取れる発言をした。その半年後に、玉幡プールとの統廃合案が示され、廃止されようとしている。約束違反と感じている。

反対理由の第一は、プールとの統廃合案は、市民の要望ではないことである。

第二は、玉幡公園に作られる温浴施設は、狭く、温泉でもない魅力・集客力に欠けるであろう施設になることです。

第三は、解体費用が高騰していることです。昨年予想された1億円前後の解体費が、約1億5,000万円になっている。かまなしの湯は2億2,000万円で大規模改修ができる。玉幡公園を4億円かけ温浴施設・駐車場をつくるより大幅な経費節減ができる。

第四は、玉幡公園への統廃合で休館期間が大幅に長くなることです。再開は令和10年3月丸4年間休館です。大規模修繕しても1年程度で営業再開できます。

以上、市民の要望に応えず、いたずらに多額の費用がかかり、再開に長期間要するかまなしの湯解体は、少なくとも今すべきではありません。

以上反対討論とする。

一般質問

こ こ が 聞 き た い

第2回定例会では、9人の議員が一般質問を行い、2日間にわたり活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、次のとおりです。

なお、市議会ホームページで、一般質問の録画映像を配信していますのでご覧ください。

録画映像のQRコードは
こちら ▶



甲斐市議会 議会中継

検索

一般質問の詳細な内容については各議員のQRコードからご覧いただけます。

一般質問とは、行政全般にわたり、議員個人が執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、または、疑問を質することをいいます。



本市の自転車通行環境と安全対策について

Q 本市の自転車通行環境について。

A 国が策定して「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」を参酌し自転車道や専用通行帯の整備等複合的施策により歩行者と自転車双方の安全快適な環境を目指し道路整備に取り組んでいく。

Q 自転車通行スペースの整備状況について。

A 国道は一部の区間で道路標識を設置し自転車の歩道通行を可能とし県道は主要道路で矢羽根板等の路面標示を設置し走行位置の明確化を図っている。市道は既存道との多くで幅員不足等の理由で新たに専用通行帯の整備は困難。

Q 高齢者や外国人に対しての安全対策の方針は？

A 高齢者に対しては地域の民生委員や自治会等と連携し地域における啓発活動に注力、外国人に対しては警察や関係機関と連携し、外国人労働者を雇用している事業者等と

協力して交通安全対策を推進して行く。

Q 市民への交通ルール・マナー周知の仕組みについて。

A 警察や小中学校、交通安全関係団体と連携し、ライフステージに応じた交通安全教室を実施。青切符制度導入を受け市役所や駅等の公共施設、市内各高校にポスターやチラシ設置。市ウェブサイト等を通じて周知を図る。



その他質問項目

- AIデマンド交通かいのりの導入について
- 市民バスの広域連携体制について
- 高齢者に向けた移動販売等の買い物支援対策
- リニア駅と竜王駅との交通アクセスについて



家族の安心を担保するGPS機器

Q 高齢者の所在が不明になった場合のGPS機器の効果についてどう考えるか。

加藤 敬徳 A 認知症高齢者等のGPS機器の所持については、万が一所在不明となってもGPS機器により居場所を特定できるため、迅速な捜索や早期の発見・保護につながるものであり、家族にとっては「どこかに行ってしまうかもしれない」という不安や、「常時見守っていないといけない」といった負担感を軽減できるものと認識している。そのため、GPS機器は、所在不明を未然に防ぐ取り組みとともに、いざという時の備えとして活用することで、認知症高齢者の安全を守る見守りツールの一つになると考えている。

Q 市に於いて市民の安心・安全な暮らしを担保するために、所在不明となった高齢者の発見を容易にするGPS機器の購入、またはリース費用の補助をし、機器の普及を図るべきと考えるが見解は。

A GPS機器の活用は有効な手段であるが、その利用にあたっては、様々な課題もある。また、GPS機能を持った福祉用具については、介護保険が適用される物もあるので、必要な方が利用できるよう介護事業所との連携に努めるとともに、国においても通信機能を備えた福祉用具のあり方について検討が進められている。国の動向を注視しながら、他市町村の状況等も調査・研究していく。



家族がスマホで見守りできるGPS

その他質問項目

- 防犯カメラ設置補助





不登校・登校しぶりの早期支援と 学校現場を支える相談・専門職連携の 仕組みについて

河野みひろ

Q 不登校や登校しぶりの兆候を早期に把握し、専門職との連携につなげる仕組みについて。

A 全教職員が多角的に変化を把握し構内会議で共有。初期対応で改善が見られない場合、校内で協議のうえ専門職へつなぎ、学校間では対応差が出ないように基本手順の周知を行っている。

Q 不登校・登校しぶりに関する相談窓口・支援先の整理と保護者への案内について。

A 複数の相談窓口をリーフレットで案内。保護者の負担感、支援先や制度の認知不足は課題と認識。全体像を把握できる資料の調査・研究を進める。

Q 特別支援学校のセンター的機能の活用状況と、早期相談につながる体制について。

A 令和7年度は市内11校で18回の訪問を受け増加傾向。認知不足や日程調整の難しさが課題であり、校長会での共通理解の促進に取り組む。

Q 不登校対策事業の進捗把握と、次年度以降の改善・予算編成に向けた検証について。

A 事例の成果・課題を毎年度確実に把握し予算編成に適切に反映。ヒアリングで収集した校長会等を通じて学校間で共有する。



Check!

録画映像のQRコードはこちら ▶



これからの自治会の あり方について

滝川美幸

Q 河川清掃の実情を踏まえ、高齢化が進む自治会における「地域の労働力」の問題について市の対応を伺う。

A 各自治会における清掃範囲や作業内容等は下水道の整備状況のほか、高齢化や人員の問題など地域の実情をふまえ、できる範囲での実施をお願いしている。

Q 河川清掃や公園の維持管理などの労働力を必要とする自治会の事業の為に若い世代に自治会に加入してもらい、その労働力に期待するなどの楽観的な考えは自治会離れを加速させる要因になるのではないか。

A 自治会への参加は、地域住民が自主的に地域課題の

解決や親睦を深めること、また地域に愛着を持って住みよい環境を作っていくことが目的と考えており、特定の世代に過度の労働負担を求めるものではないと認識している。

Q 高齢になった住民の労働力不足を補うためには、専門家に労働を依頼することも考えられる。市として自治会存続のために予算化の検討が必要と考えるが。

A 河川清掃に係る新たな予算化の検討は行っていないが地域の実情に応じて清掃箇所や作業内容等の見直しを行いながら、現行の補助金制度を有効活用していただきたい。自治会と連携し様々な課題解決に努めてまいりたい。



住宅地を流れる水路

その他質問項目

- 教職員の働き方の状況について
- 学校教育支援員、学力向上スタッフの職務について
- 学力教育支援員、学力向上スタッフの貢献度について



国際情勢の変化による資材不足・ 物価高騰への対応について

山本英

Q 甲斐市はこれまでも、物価高騰対策支援金など、市民生活を守るための迅速な独自支援に取り組んでくれました。しかし、物価高騰がさらに長期化・深刻化した場合、食料品や日用品、光熱費などの負担増により、市民生活への影響は一層大きくなることが懸念されます。市民の不安を軽減するためにも、今後、プレミアム付き商品券の増発や新たな給付措置など、市独自の生活支援策について検討していく考えがあるのか伺いました。

A 物価高騰が長期化する状況においては、市民の不安を軽減するため、適切な生活支援策を講じることが不可欠であるとの認識が示されました。また、国の物価高騰対応重点支援地方交付金を有効活用するとともに、今後の国の動向を注視しながら、市の実情に応じた支援策を検討していくとのことでした。



その他質問項目

- 消防団員減少への対応と持続可能な防災体制について





玉幡総合屋内プール 再開を優先すべきだ

谷口和男

Q 玉幡屋内プールは4年間もの長期閉館になる。甲斐市の貴重な温水プールの再開遅れは「玉幡公園総合屋内プール施設整備計画」を立てているせいではないか。

A 施設の全体修理、運営方法の見直し、他施設との複合化などに時間を要した。

Q 施設全体の老朽化で全面修理するというが、まだ築18年だった、老朽化なのか？

A 老朽化について、一概には言えない。

Q 玉幡プールの再開遅れは、かまなしの湯との統廃合整備計画のせいだ。

A 公共施設の複合化など将来性を見据えた整備計画の策定を進めてきたためです。

Q 今議会で、整備工事費・管理工事費の補正予算が提案されると聞いていたが、提案されていない。実施設計に問題があるのか。

A 物価高騰や昨今の社会情勢による影響を考慮して、設計内容を慎重に精査している。

Q 玉幡温泉プールの、再開が令和10年3月にずれ込むとのことだが、建設資材の何の入荷が遅れるのか。或いは、人手不足なのか。

A 既存屋内プールにつきましては、大規模なものとなる。特に機械設備の入荷に日数を要するのではないかと危惧しているところである。



その他質問項目

- 国民健康保険など医療保険の負担軽減を
- かまなしの湯を再整備し残すべきだ
- 志麻の湯等市民温泉の維持存続に向けて



自治会の現状と 方向性について

黒崎真樹

Q 竜王、敷島、双葉地区それぞれの自治会数、平均世帯数、最大および最小世帯数について伺う。

A 竜王地区は40自治会、平均加入世帯は344、最大は899、最小は42世帯、敷島地区は51自治会、平均加入世帯は142、最大は1,176、最小は2世帯、双葉地区は44自治会、平均加入世帯は120、最大は423、最小は18世帯となっております。

Q 自治会加入率の現状と推移について伺う。

A 年々減少傾向にあり、令和5年度78.2%、令和6年度77.1%、令和7年度76.4%となっております。

Q 自治会への依頼内容を見直す考えはあるか。

A 自治会の負担軽減は重要な課題と認識しています。必

要性と役割を検証し負担軽減につながるよう見直して参りたいと考えております。

Q 自治会の方向性について自治会加入者未加入者関係なくアンケートを実施する考えはあるか。

A 自治会連合会と協議し必要に応じ実施して参りたいと考えています。

Q デジタル化による自治会負担軽減対策として甲斐市独自のアプリ導入についてどうか。

A 関係部署への確認、運用中の公式ラインとの比較、他自治体の活用を確認するなど調査研究して参ります。



自治会の清掃活動

Check!

録画映像のQRコードはこちら ▶



都市公園の利用について

皆川千香子

Q 公園使用料を徴収している現在、公園の電気設備の使用は可能となっているのでしょうか。

A 公園の電気設備につきましては、公園維持管理を目的として設置しているものであることから、原則として一般利用者による使用は想定しておりません。ただし、現在整備中の「しのはら公園」では、キッチンカースペースに専用のコンセント設備を設置する計画であります。

Q 整備中のしのはら公園には、キッチンカー用のコンセント設備を設置するとのことですが、既設の公園にコンセント設備を設置する計画はあるのでしょうか。また、利用者へ貸し出すレンタル発電機など、市で用意することは考えているのでしょうか。

A 現在、既存の公園にイベント用のコンセント設備を増設する予定はございませんが、今後開催されるイベントの内容や、電気設備使用に係る要望件数などを見極めつつ、県や他市における状況も調査のうえ、ご指摘のレンタル発電機の用意も含め、今後、検討してまいりたいと考えております。



R7.11.24

Kai・遊・パークで開催したイベント

Check!

録画映像のQRコードはこちら ▶





予算及び人事について



金丸 寛

Q 土地改良区について、旧3町各々が同様の組織を持っていますが、その扱いに大きな差が生じている経緯を伺う。

A 組織設立当時は、4つの土地改良区の全てにおいて賦課金を徴収し、用水路や農道整備の他、耕地整理等の土地改良事業を実施していたが、竜王土地改良区では、急速な宅地化やそれに伴う農家数の減少などの理由により、賦課金での運営が困難となったことから、昭和62年に賦課金を廃止。4つの土地改良区受益地のかんがい面積は、竜王地区の宅地化の比率が突出しており、賦課金の徴収を含む取り扱いが異なる理由は、土地利用の状況がその要因だと理解しています。

Q 竜王土地改良区は市の予算から補助金を受けているが、その意味と立ち位置を伺う。

A 竜王土地改良区区域は、旧町時代から甲府市のベッドタウンとして急速な都市化が進み、農業用排水路が生活用排水路として利用される割合が多くなったことから、旧竜王町は、農家の負担軽減と公共機能の維持を目的に、賦課金の徴収を廃止し、補助金で運営を支える仕組みを導入した経緯があります。



その他質問項目

- 双葉地区に関して過去に議題となったことは
- その時の対処はどのようにされたか伺う
- 今回の副市長人事の任命理由を伺う
- 市議会選挙の投票率の低さの分析を伺う



議会を傍聴してみませんか?!

傍聴の流れ

予約は不要です。



STEP 01

竜王庁舎本館4階へお越しいただき、傍聴受付をしてください。



STEP 02

受付簿に必要な事項を記入し、回収箱へ入れてください。



STEP 03

傍聴席入り口にある心得を守り、傍聴してください。



会議の途中でも入退場は可能です。

甲斐市で頑張る皆様の活動を紹介してみませんか?

特集「輝く仲間たち」として、市内で活動している方(団体)を、年齢・性別・職種等を問わず、活動内容を掲載しています。

詳しくは、市議会ホームページまたは、議会事務局まで問い合わせください。

甲斐市議会事務局 議事運営係
TEL 055(278) 1673



甲斐市議会だよりNo.87

委員会構成・一部事務組合

委員会構成 ※敬称略

● 総務常任委員会

市長公室、総務部、財政部、防災危機管理課、会計課、議会事務局

【所管事項】

市の財政・契約、市の総合的な政策、情報公開・財産・消防に関すること

写真左から

依田那津希、樋口孝之、赤澤厚、秋山照雄 委員長、山本英 副委員長、加藤敬徳、若尾彰子、大久保智勇



● 厚生文教常任委員会

市民生活部、福祉部、こども子育て健康部、教育部

【所管事項】

社会福祉施策、生活保護、高齢者・障がい者・児童・母子福祉、介護保険、保育、健康の増進・保健、国民健康保険・年金等、学校教育・社会教育ほか教育行政、観光に関すること

写真左から

皆川千香子、谷口和男、滝川美幸、保坂康 委員長、依田那津希 副委員長、金丸幸司、若尾彰子、河野みひろ



● まちづくり環境常任委員会

環境産業部、まちづくり振興部、公営企業部

【所管事項】

環境・衛生、道路・河川、都市計画・公園、駅周辺整備、下水道・農業集落排水、上水道、農林業・農村振興、商工業・労働行政に関すること

写真左から

黒崎真樹、大久保智勇、金丸寛、藤原正夫 委員長、山坂賢太 副委員長、山本英、皆川千香子、河野みひろ



● 議会広報常任委員会

- 委員長 樋口 孝之 ●副委員長 加藤 敬徳
- 委員 皆川 千香子・大久保 智勇
山坂 賢太・保坂 康

■ 常任委員会とは

議案や請願などを詳しく審査するために、常設されている委員会です。4常任委員会が設置され、任期は2年で、議員は少なくとも1つの常任委員会に所属します。

議会議員が決まりました

● 議会運営委員会

- 委員長 赤澤 厚 ●副委員長 秋山 照雄
- 委員 山本 英・依田 那津希・山坂 賢太
樋口 孝之・金丸 幸司・藤原 正夫

■ 議会運営委員会とは

議会を円滑に運営するため、議会運営の全般について、協議・調整を図るために設置されている委員会です。

● 議会改革特別委員会

- 委員長 保坂 康 ●副委員長 依田 那津希
- 委員 河野 みひろ・大久保 智勇・山坂 賢太・樋口 孝之・金丸 幸司・金丸 寛・藤原 正夫

● 脱炭素社会推進事業特別委員会

- 委員長 樋口 孝之 ●副委員長 山本 英
- 委員 河野 みひろ・黒崎 真樹・皆川 千香子・大久保 智勇・保坂 康・加藤 敬徳

● 公共施設マネジメント調査特別委員会

- 委員長 若尾 彰子 ●副委員長 山坂 賢太
- 委員 山本 英・依田 那津希・加藤 敬徳
谷口 和男・秋山 照雄・滝川 美幸
赤澤 厚・藤原 正夫

■ 特別委員会とは

特定の事柄について、専門的に審査・調査するために、必要に応じて設置される委員会です。任期は審議が終了するまでの間で、3特別委員会の他に、当初予算や決算を審査する際にも設置されます。

一部事務組合議会議員

● 甲府地区広域行政事務組合

- 山本 英・依田 那津希・若尾 彰子・保坂 康・樋口 孝之・藤原 正夫

● 中巨摩地区広域事務組合

- 河野 みひろ・皆川 千香子・加藤 敬徳・谷口 和男

● 峡北広域行政事務組合

- 大久保 智勇・山坂 賢太・秋山 照雄・赤澤 厚

● 山梨西部広域環境組合

- 金丸 幸司・滝川 美幸

● 峡北地域広域水道企業団

- 金丸 寛

● 山梨県後期高齢者医療広域連合

- 黒崎 真樹

■ 一部事務組合とは

複数の市町村等が、行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置した組織です。

■ 広域連合とは

複数の市町村等が、広域的な事務を効率的に処理するために設置した組織です

初めての議会を終えて ～新人議員の思い～

4月19日の市議会議員一般選挙で新たに4名の新人議員が誕生。初めての議会を終えての感想等を伺いました。

初めての議会を経験しての感想は

河野：一般質問や、補正予算・条例案の審査など、初めての経験ばかりでした。確認すべきことが多いからこそ、一つひとつ丁寧に向き合うことの大切さを感じました。

黒崎：格式ある議場で気が引き締まる思いでした。緊張しながら自治会のあり方に関する一般質問をしました。市政についてより深く学び、いろんな体験を積んでいきたいと思います。

皆川：市長をはじめ、各部長・諸先輩議員の方々の前で初登壇、非常に緊張しました。過去の映像を視聴してはいたものの、本番では改めて議会の重要性を肌で感じ、責任の重さを実感いたしました。

大久保：初めての本会議は議場の独特な雰囲気にも緊張しました。一般質問と答弁のやり取りが特に印象に残り、議員としての責任の重さを改めて実感した期間でした。

新人議員研修会を開催しました

5月21日、22日に新人議員研修会を開催し、各担当から所管事務内容や令和8年度主要事業などについて、説明がありました。

また、議会事務局からは、本会議や委員会での審査の流れや、一般質問・代表質問の方法などの説明があり、理解を深めました。

これらの研修を踏まえ、6月に開催した第2回定例会では、河野議員、黒崎議員、皆川議員が一般質問に立ちました。

議会広報常任委員の紹介

5月18日に新しい議会広報常任委員が選任され、今号から新たな委員での発行となります。

甲斐市議会だより「かいぎカイ」は、各定例会後に、年4回(1月・4月・7月・10月)発行し、議会活動の様子をお知らせしております。

今後も市民の皆さまに議会を身近に感じ、議会活動をより理解していただけますよう、見やすい、読みやすい、分かりやすい紙面づくりを心掛けて参りますので、引き続き、ご愛読をよろしくお願いいたします。



お詫び

甲斐市議会だより第87号の訂正について

甲斐市議会だより第87号(令和8年4月25日発行)14ページのアンケート結果②に誤りがございました。お詫びして訂正します。

② 議会だよりを読む頻度

誤

	86号
読んだことはない	0
初めて	0
ときどき	4
毎回	3



正

	86号
	0
	0
	4
	4



令和7年度 議長交際費執行状況

議長交際費は、議長が議会を代表して外部団体などと交際をするための費用で、慶事・弔辞・会費などに支出しています。令和7年度の議長交際費の内容をお知らせします。

月	支出基準	支出内容	支出額
4月		支出なし	0円
5月	弔 慰	元市議会議員 香典	10,000円
6月	儀 礼	甲斐国際交流協会 設立20周年記念式典会費	8,000円
7月	儀 礼	甲斐市山梨県人会年会費	1,000円
	儀 礼	甲斐市山梨県人会総会・懇親会負担金	12,000円
8月		支出なし	0円
9月	接 遇	タラマラハイスクール友好交流団記念品(17名分)	18,700円
10月	儀 礼	令和7年度タラマラハイスクール有効交流団歓迎レセプション会費	6,000円
	弔 慰	元双葉町議会議員 香典	10,000円
	儀 礼	関東市議会議長会山梨県支部 意見交換会負担金	9,000円
	弔 慰	元敷島町議会議員 香典	10,000円
11月	見舞い	市議会議員 見舞い	5,000円
12月		支出なし	0円
1月		支出なし	0円
2月	弔 慰	元市議会議員 香典	10,000円
3月		支出なし	0円
支出合計			99,700円

令和7年度 議会政務活動費の収支報告

期間:令和7年4月から令和8年3月(交付額:議員1人あたり月額10,000円)

会派名	年度末 人数	交付額 (万円)	決算額 (万円)	返納額 (万円)	使途内容	
創 政 甲 斐 ク ラ ブ	6人	72	69	3	調査研究費	令和7年8月26日:北海道有珠郡壮瞥町 昭和新山、洞爺湖視察 令和7年8月27・28日:北海道札幌市 全国市議会議長会研究フォーラム (地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて) 令和7年8月29日:北海道千歳市 航空自衛隊千歳基地視察
新 政 会	5人	60	59.9	0.1	調査研究費	令和7年8月26日:北海道有珠郡壮瞥町 昭和新山、洞爺湖視察 令和7年8月27・28日:北海道札幌市 全国市議会議長会研究フォーラム (地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて) 令和7年8月29日:北海道千歳市 航空自衛隊千歳基地視察
甲斐のさくら	3人	36	36	0	調査研究費	令和7年8月26日:北海道小樽市 小樽運河、公共交通、小樽市総合博物館、運河館・小樽芸術村 令和7年8月27・28日:北海道札幌市 全国市議会議長会研究フォーラム (地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて) 令和7年8月29日:北海道千歳市 北海道大学、新千歳空港のサンリオキャラクター活用
					研修費	令和8年2月5日 日本看護サミット2025
					資料購入費	参考図書
日本共産党 甲斐市議団	2人	24	24	0	広聴・広報費	令和7年8月22日:会派活動報告書印刷代 第60号 令和7年11月4日:会派活動報告書印刷代 第61号 令和8年3月21日:会派活動報告書印刷代 第62号 令和8年3月25日:会派活動報告書チラシ折込料
公 明 党	2人	24	9.5	14.5	調査研究費	令和7年11月21日～22日:和歌山県和歌山市「地元を離れた若者層を関係人口にするデジタル施策」研修
					広聴・広報費	令和7年11月26日～令和8年2月26日(月額):issues利用料
					資料購入費	参考図書
(無会派) 金 丸 寛	1人	12	12	0	広聴・広報費	令和8年1月6日:インクフィルム代 令和8年3月3日:活動報告書印刷代
					資料購入費	参考図書

議会を傍聴してみませんか！

手続きは簡単です。本会議の当日、傍聴人名簿に氏名・住所・年齢を記入していただくだけです。議会を傍聴することは市政を知る良い機会ですので、ぜひお越しください。また、傍聴席には字幕モニターを設置しておりますので、ご活用ください。

令和8年 第3回定例会 の日程(予定)

※日程等に変更がある
場合もあります。

※傍聴に際し、手話通
訳が必要な方は、障
がい者支援課へお
申込みください。

TEL.055-267-7287
FAX.055-276-2113
メール:kai-shuwa@i.softbank.jp

日	月	火	水	木	金	土
9/6	7	8	9	10 本会議 (議案上程等・一般質問) 10:00～	11 本会議 (一般質問) 10:00～	12
13	14 本会議 (一般質問) 10:00～	15 まちづくり環境常任委員会 9:30～ 厚生文教常任委員会 13:30～	16 総務常任委員会 9:30～ 特別委員会 13:30～	17 委員会 予備日	18 本会議(採決) 10:00～	19
20	21	22	23	24 決算審査 特別委員会 9:30～	25 決算審査 特別委員会 9:30～	26
27	28 決算審査 特別委員会 9:30～	29 決算審査 特別委員会 9:30～	30 決算審査 特別委員会 9:30～	10/1 特別委員会 予備日	2 本会議(採決) 15:00～	3

甲斐市商工会「かいてき住まいの応援団」相談窓口

住まいのお困りごとは、信頼の地元業者で！

家のリフォームから、
造園・外構・快適住環境整備まで
あらゆる住まいの相談にお応えします！
ご相談は、商工会へ！



新築 改築	外壁 工事	内装 工事	造園 外構	水廻 工事	電気 工事	快適 環境
----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

【ご相談窓口】 甲斐市商工会 経営支援課
甲斐市篠原2710-1 ☎055-276-2385
<http://www.kai-shokokai.jp/sumai/>



有
料
告
白

NPO 法人甲斐志麻の里ファーム 地域活動支援センター かいしま

障がいをお持ちの方が日中に集って活動できる
居場所づくり・仲間づくりを行っています。
お気軽にお電話ください。



農業体験による就労支援事業所
甲斐志麻の里ファーム

開所時間 平日 9:30～17:00
住 所 甲斐市島上条 1277-1
電話・FAX 055-288-1241

土地・建物の登記のことは 土地家屋調査士にお任せください。

土地家屋調査士 秋山信仁事務所

〒400-0117 山梨県甲斐市西八幡2599-1
TEL 055-276-9584 FAX 055-276-9582
E-mail nh-akiyama@festa.ocn.ne.jp

青柳印刷株式会社

プリントオンデマンド
shop.aoyagi-insatsu.com

ポスター・封筒・冊子
名刺・カード・クリアファイル
チラシ・耐水紙 など

上記インターネット(PODshop)からでも
ご注文いただけます！



各種印刷物、おまかせください！

〒400-0125 山梨県甲斐市長塚526
TEL 055-277-5511 FAX 055-277-9201

☎0800-800-9881 <https://aoyagi-insatsu.com>



議会広報常任委員会

委員長 樋口孝之	委員 大久保智勇
副委員長 加藤敬徳	委員 山坂賢太
委員 皆川千香子	委員 保坂康

甲斐市議会だよりの有料広告に
関するQRコードはこちら



発行日／令和8年7月25日
発行人／議長 小澤 重則

発行／甲斐市議会 〒400-0192 山梨県甲斐市篠原2610番地 TEL(055)278-1673
編集／議会広報常任委員会



この印刷物は、環境にやさしいベジタブルオイルインキで印刷しています